



↑生國魂神社の獅子舞

夏祭りとは、一般に旧暦の六月十五日頃（現在の七月頃）に執り行われる祭りを云う。
夏は疫病・害虫・風水害など不安の多い季節である。
これらは、俗に悪霊や疫神（えきじん）の仕業によると考えてこられ、平安時代に起こった御霊信仰により、これらの悪霊を

夏祭り

鎮め、災害を除去することが、夏祭りに託されてきた意のおおかたである。
高津宮・生國魂神社の大祭が夏祭りである由縁は、ここにある。
昔から生國魂神社の氏子が高津宮の祭りに参加してはいけない、また高津宮の氏子が生國魂神社の祭りに参加してはいけないなど『垣根』があった。
それに加えて生魂・高津の氏子地域が複雑に入り組んでいて空堀地域では、商店街の向かい同士の店で生魂・高津となつているところもある。
それらがもとで、昔は夏祭りなどで両氏子の争いがあったように聞いている。

からほり新聞

第24号
(2012.07.08)

「空堀界隈をご散策される皆様へ」

- ◆路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。
- ◆美しい石畳や木造家屋に「ミ」は似合いません。
- ◆商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。



↑高津宮・鳳神輿巡行

しかし現在では、少子化・高齢化・若者の地元離れなどの問題もあり、祭りの担い手が減少した為、両神社が協力し合うことを十数年前示し合わせた。

その証に、夏祭りには空堀商店街の谷町筋に面した東西のアーケードには、両神社の提灯が掲げられる。

その後、生國魂さんの夏祭りである七月十一、十二日には数年間途絶えていた獅子舞の巡

行が復活し、高津さんでもその数年後長年途絶えていた神輿（みこし）が復活した。
我々神主は、それぞれの神社の御祭神に、感謝申し上げ、社会の平和・繁栄を祈念する役目がある。
それゆえに、獅子舞いや神輿が地域社会の交流・発展の一助となると共に、生國魂神社・高津宮の御祭神の御神慮が高まり、平和で心豊かな社会となることを心より祈る次第である。
(高津宮宮司 小谷真功)



↑高津宮夏祭の本殿風景

「からほりさん」News

当会は寄付が主な活動資金です。
この度イオングループのKOHYO空堀店様のご支援を頂くことになりました。毎月11日黄色のレシートを備え付けのボックスに入れて頂くと売り上げの1%が高齢者外出介助の会に還元されます。皆様ご協力お願い致します。

- かみなり亭寄席
 - ▶7月14日(土) ▶開演：午後6時30分▶木戸銭：1500円▶葉業年金会館▶問い合わせ06-6768-3549
- 講談 旭堂南海の南海続く会
 - ▶毎月第4(火)▶木戸銭1500円▶葉業年金会館
- 楓ギャラリー
 - ▶http://www.ef22.com/kaedetop.html

買い物は空堀商店街で

お年寄りの皆さんに、住み慣れた町で楽しく充実した暮らしが続けられることを願って、支援活動や暮らしの潤いに様々な企画を推進しています。

- 心も身体もいきいき暮らす
 - ▶参加費300円▶日時：9月10日～10月31日毎月(月)と隔週(水)午後1時30分～▶場所：からほりさん▶月曜日・心身機能活性化療法▶水曜日・タッチフォヘルスと紙漉▶日常の暮らしに不安を感じる前に健康な暮らしが出来るようにと進めます▶定員：8名▶ご参加お待ちしております▶連絡問い合わせ：高齢者外出介助の会06-6764-4002
- 図書ボランティアを募集!
 - ▶締切8月28日(火)▶島之内図書館を拠点として、図書の管理や紙芝居の実演をして頂くボランティアを募集▶定員は10名程度▶お問い合わせは：TEL06-6211-3645
- 大阪文学学校 屋・詩の連続講座
 - ▶日時：9月1日(土)午後3時～5時▶講師：金時鐘(詩人・大阪文学学校特別アドバイザー)▶木戸銭：1500円(一般)▶問い合わせ：電話06-6768-6195

☆編集後記

◆「ぶら空堀まつり」みなさんお疲れ様でした。1ヶ月ちょっとの企画でできたと思えない盛況ぶりでした。やっぱり空堀は面白い! (山本のお)

◇暑い日は、早くも夏の訪れを感じています。今年の夏は暑いかな? 暑いと思っておきましよう。(岡田)

◆なかなか決まらない国政と速く決め過ぎる市政、どちらも

困るが拙速に壊す方が怖い? (や)

◇今年も玉造りの種が来た。本葉も顔を出し毎日の楽しみが増えたが、なぜか成長が悪い。(永井)

◆4月で急に閉館になっていたITSステーション(障害者のためのパソコン教室)が知らない間に看板が取れていた。どういうことなのか? 市民はウロウロする。(矢子)

特定非営利活動法人

高齢者外出介助の会とは?

お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくため次のような活動をしています。

- ①外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
- ②暮らしサポーター(買い物、薬取り、入院時支援など)
- ③車椅子貸し出し(お気軽にご利用下さい)
- ④生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、布ぞうりなど)
- ⑤大阪の文学を読む会(学び)
- ⑥「からほり新聞」制作

お気軽にお問い合わせください。

大阪市中央区松屋町4-8 メイツ松屋町1階
(おとうふ屋さんのおとなり)
TEL&FAX 06-6764-4002
月～金(10:30～15:00)
E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp
ホームページ: www9.ocn.ne.jp/~ode-kake/

「からほり新聞」は高齢者外出介助の会に集う有志が、愛する「からほり」の賑わいを願って作っている無料のコミュニティ紙です。ご意見・ご感想・投稿・イベント情報などお待ちしております。また、「新聞置いてあげてもいいよ」とおっしゃってくださいのお店も大募集。
「からほり新聞に参加したいな」と思われる方、大歓迎です。気軽にご連絡ください。(現在55カ所設置)

マリンバを楽しみませんか?

毎週木曜日「からほりさん」で教室をしています。見学・体験(1回)大歓迎!!

くわしくは高齢者外出介助の会でお問い合わせください。
指導：北口 桂



capital L cafe & bar
[時間] 11時30分～午後11時
[定休日] 日・月



542-0062 大阪市中央区上本町西3-3-30
tel. 06-6764-0211

日本の近代化に貢献した

大村益次郎卿の碑に思う

(後編)

四十四歳、大政奉還がなされ明治元年となる。しかし旧幕府軍の抵抗で鳥羽伏見の戦いや、江戸城開城後の戊辰戦争が起る。明治新政府の役人として制御不能となった江戸の全警察権を握り、上野に立て籠もった三千人の彰義隊も、わずか一日で鎮圧してしまった。この事で大村益次郎の名は、広く世間に知られるようになった。

四十五歳、明治二年六月、木戸、大久保と並び新政府の幹部となる。大村は藩の廃止、廃刀令、徴兵制の制定、鎮台の設置、兵学校設置などの、後に実施される日本軍の青写真を描いていた



が、士族の反発を考える大久保とは意見が常に対立、大村更迭の話まで出た。しかし軍事に関して、大村に代わるべき人物は誰も無かった。七月、木戸のとりなしで新たに出来た兵部省(後の陸軍省)の兵部大輔(次官)に就任。早くから蘭学や医学を学び、日本の文化や技術が立ち遅れている事を、誰よりもよく知っていたに違いない、ジョンマゲを結い旧式の鉄砲や大砲で対応しようとする日本の現状を、何とか早くに改善して外国の植民地化から守りたいと思っていた筈だ。八月、軍事施設視察のため京阪方面に出張、その帰路の九月四日、京都の旅館で八人の刺客に襲われ重傷を負う。それが元で十一月五日大阪仮病院にて死去。享年四十五歳。



大阪市北区龍海寺
この緒方夫妻の墓地の隣にあるのが大村兵部大輔埋腿之地

さて、何故碑が、大阪の上町なのか。余談ながら大村氏は写真を残さず、証言によると小柄で色黒、

「切断した足は、緒方洪庵先生の墓の傍らに埋めよ」との遺言により、北区の龍海寺に埋葬された。此処に碑が建っている。市内の三つ目は、西区江戸堀の生寓地に看板が架かっているそうだ。

それ故、この上町は大村益次郎が最期を迎えた場所だったのである。

終戦から六十六年、大村翁の構想の跡地は今、高層ビルや市営住宅群、難波宮跡公園、大阪医療センター等の場所となり、もはや碑の前に佇む人影も、殆ど無い。

広額、大頭、大耳、鼻高、濃い眉、鬚をあたまた頂に結び常に粗服半袴とある。従って彼の肖像画は想像画なのである。あだ名は「火吹き達磨」、徹底した合理主義と頑固一徹の故に付いたのだろうか？

明治維新の偉業と外国の植民地化攻勢から日本を守ろうとして、軍制の理論と実践に、生涯を捧げた憂国の士、大村益次郎氏の顕彰碑は、西郷さんや竜馬さんのように多くの人々に知られる事も無く、ここ上町台地の懐に抱かれて、静かに建っている。翁はどんな思いで、今の日本を見ているのだろうか。終

(梶田尚子)



外出

高齢者外出介助の会

事務局長 永井佳子

Iさんの奥様からご主人が亡くなったと連絡がありました。

平成9年の夏に登録で伺った折、奥様が1人で話され、Iさんは口を開かれず無口な人という印象でした。その後、数回通院の依頼がありました。

ある時、「鍋パーティー」を企画しました。その時Iさんに、「ボランティアを出しますので地下鉄で来てください」と案内を出しました。ご夫婦で参加され最後まで楽しんでおられたようです。

その後、一年ぐらい音沙汰無く翌年の春に奥様から電話がありました。

「実は主人は寝たきりで動けなかったのです。(寝たきりの方は引き受

けていませんでした)話すことも出来ませんでした。が、鍋パーティーに誘っていただき地下鉄に乗って外出し勇気が持てました。それから外出するようになり、車椅子にも長時間座れるようになりました。声も出るようになって、今はデーターベースで認知症の方の話し相手をしていきます」この話で「外に出ることが大事です」と誰にでも自信を持って伝えることができました。

お通夜で「会から花見や、咲くやこの花館に行ったことなど、良い思い出を一杯頂いた!」。良い人生に少しお手伝いさせてもらった外出介助の会は良い会だと嬉しくなりました。



街のおじさんから

高齢や障害で車いす生活になることは誰にでも起こるかも...でも車いすからは世の中がよく見えてくる。そんなおじさんの考えたことを連載で。

芸能人の親が生活保護を受給していたと騒がれています。国会議員が名指しで追求し、週刊誌が書き立て社会問題化していますが、生活に困っている人でも最低限の生活を保障することは憲法に書かれています。国は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。2 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

民法でも直系親族の扶養義務を規定しています。が、家族だけでなく「社会全体で支えて行こう」というのが、今の福祉の考え方です。しかし、「家族に扶養が困難な理由を証明する義務を課す」と

いった厚労省の動きが伝えられ、最後のセーフティネットが危うくなってしまう恐れが出てきています。また、「生活保護が年金より多いのはけしからん」と言う人がいますが、最低生活ができない年金の少なさの方が問題で、金額を比較して多すぎると非難するのは的外れです。このような風潮で一番困るのは、社会的に弱い立場にある人達で、特に障害者が地域で自立生活するためには生活保護は不可欠であり、一方的なバッシングには強い危機感を感じています。道義的な問題や不正受給と、必要なセーフティネットを混同しないで欲しいものです。(山名 勝)



地域の福祉、みんなで参加

●地域の福祉の充実に、みなさまのご支援をよろしくお願ひ致します。共同募金は、10月1日～12月31日の期間ですが、年間を通じて寄付金を受付しています。●大阪府共同募金会事務局は、谷町7丁目交差点を信号1つ西入ルの大阪社会福祉指導センターの2階にあります。どうぞよろしく。●ホームページをぜひご覧下さい。http://www.akaihane-osaka.or.jp

高齢者外出介助の会

外出介助ボランティア募集

楽しい出会いで「知る」「学ぶ」「体験」が出来ます。希望の方は当会 06-6764-4002 までお電話下さい。



大阪文学学校が、空堀商店街から程近いビルの3階に移転して39年。以来、講義が終つてから、商店街の喫茶店やお好み焼き屋などに集まり、語り尽せなかつた。

「かなり貢献していますよ」と、小原さん。大阪文学学校の特別アドバイザーであり、詩人の金時鐘（キム・シジョン）さんの奥さんが経営している韓国居酒屋「すかんぼ」のあるビルの3階に、高齢者外出介助の会の事

たことについて議論を繰り広げることが、もう一つの学びの場になっている。文校で飲み会をする時には、お酒やつまみを木下酒店などの地元の商店街で調達するので、「かなり貢献していますよ」と、小原さん。大阪文学学校の特別アドバイザーであり、詩人の金時鐘（キム・シジョン）さんの奥さんが経営している韓国居酒屋「すかんぼ」のあるビルの3階に、高齢者外出介助の会の事

屋・詩の連続講座
日時：9月1日（土）
午後3時～5時
講師：金時鐘（詩人・大阪文学学校特別アドバイザー）
木戸銭：1500円（一般）
問い合わせ：06-6768-6195

（三井康栄）

快傑！からほり人

快傑ファイル其の二十

ほんとうの自分と出会うために

「文学」の扉を開いてみませんか

大阪文学学校事務局長 小原政幸さん

1954年夏に創立して58年の歴史を刻む大阪文学学校。春期の新入生は、夜間部31名、昼間部23名、通信教育部31名で計85名。在校生の総数は本科・専科・研究科あわせて517名（休学生含む）。書く・読む・聴く・対話の学校に学ぶ受講生の年齢層は10代から80代と幅広く、遠く離れた海外からの通信生もいる。自身も文校生だった小原（こはら）政幸さんは今、大阪文学協会理事として、事務局長として文校を支えている。

空堀の3商店街連携によるマップづくり

地域の背骨のような役割として「空堀通り商店街」「空堀商店街協同組合」「空堀商店街」という3つの商店街が約800m連なり、戦前から地域の生活基盤として栄えてきました。最近では地域の魅力に惹かれ、新規出店する若者や映画撮影の場所として地域外からも注目されるようになってきています。

しかし、戦前から地域の生活の要として、反映してきた商店街ですが、商店の担い手不足、少子高齢化など多くの問題や課題があります。特に木造密集市街地や上町断層があるというところで防災への不安が挙げられ、独特の文化が色濃く残る一方、地域の弱さも危惧されています。



そういった問題にひとつの組合活動だけでは抜本的な解決はできません。まず、地域の中心である商店街が歴史や防災、福祉を取り入れた地域のためのマップづくりを通じて連携を深めていこうという想いで「空堀商店街マップ」づくりがスタートしました。

初の3商店街合同の取り組みは、お互いの商店街を知り理解を深めるところからはじまりました。昨年から商店街の代表者がお店を閉めたあと夜遅くまで商店街や地域の問題について話し合う会を毎月行っていました。単なる店舗を載せたありきたりなマップではなく、地域の人たちに利用してもらえらるマップ、読んでいて楽しいマップにしていこうためにどうすればいいのか。

特に悩みました。そして完成したのが、このマップです。この活動の熱い想いのまま、初の3商店街合同配布イベントをしようとするようになりました。

地域の方々や多くの団体に助けていただきながら、5、000人以上の来街者を呼ぶ盛大なイベント「ぶら空堀まつり」を開催することができました。来街者や店主さん、実行委員から「面白かった」とか「今後も続けてほしい」など多くの嬉しい声を頂きました。

今回のイベントで活動が終わりではなく、商店街としても新務所が開設されていたこともあった。

近年、修了生・在校生やチューターのかなから、詩や小説の部門での受賞が相次いでいるが、田辺聖子さんや玄月さんが芥川賞に輝いた年は、そのPR効果により入学希望者が増えて活気づいた。

「文章が下手でも、ものになるのか」という問いに答えて小原さんは、「上手下手が問題ではありません。何を書きたいか、何を伝えたいかが大事なんです」と。「相手の心に届く文章にするにはどうしたらいいか、そのコツを掴めるようにじっくりつきあいますよ」とも。

「授業のキモ」とも言うべき合評会では、身を削るような思いで書いた作品を批評されるので、相手の言葉に傷つき、涙することもありますが、自分では気が付かない視野で見えてくれるので、独りよがりにならないで済む。読み手の感情や考え方に敬意を払いながら、よく聞くという姿勢を身に付けることが、合評の効用だろう。

たな取り組みを考え、地域の新たな魅力づくりに繋げ、空堀界隈全体の活性化になればと考えています。



子ども落語開催中のくるみ前の風景



カルテット開催中の澤井邸前の風景

からほい界隈お散歩MAP



～其の21 味のある階段特集～

お食事何処から、今回は散策がてら訪れてほしい空堀地区にある、味のある階段特集。
古い赤レンガを使った階段や、え！こんな路地裏に!?と思ってしまうような階段など、まとめてみました。意外なところに姿を見せる階段、いつもとはちがう空堀の景色を楽しんでください。



⑤谷町筋から桃園幼稚園への近道
セブンを過ぎたパーキングを左に曲がると、ベビー服店や帽子専門店など、おしゃれなお店が並ぶ通り。そこを下ると大きな階段に到着します。正確には「観音坂」といいます。傾斜がゆるいのと、手すりが整備されているのでゆっくり降りられるだけでなく、空堀推奨建物沿いにあるのでそこも魅力です。



⑥短いけれど楽しい場所
長堀通りを一本入った道。進んでいくと、皮製の雑貨屋さんやバックなどを販売しているお店があります。その通りの真ん中に、4段だけ小さな階段があります。石を使った古い雰囲気のある階段。なんとなく雰囲気の良い家ならんでいて、その階段に行くまでを楽しむことができます。



⑦曲がって進んで発見
スーパー玉出の前の道を進んでいくと、白い道が続き、古い家々が並ぶ路地裏をくねくね曲がって進んでいくと、いきなり目の前に階段が現れます。植木鉢など置いてあって、近所の人憩いの場になっているのでしょうか。階段を上って進んで行くと御屋敷再生複合施設「惣」に到着します。



①上町中学わき道にでる階段
空堀通り商店街を上町台地の方角に進んでいくと右手に前回、ご紹介したカレー屋さん「呂ルー」があります。その前の階段は赤レンガと呂の店の前にちょっとした小物がおいてあり、楽しい空間が演出されています。階段から見る景色は、からほりの一番の特長ともいえる路地の町並み。道を抜けると上町中学校の脇の道に突き当たり、向こう側に通り返れます。



③空堀商店街からすぐの路地階段
いつも韓国食材を販売しているお店のわき道を下ると、右側に手すりの設置された階段があります。先が行き止まりのように見えても、進んでいけば新しい通りに出られます。空堀商店街からすぐの場所にある路地階段です。



②桃谷公園わき道を進むと発見
桃谷公園向かって左のわき道をひたすら真っ直ぐ進んで行くと辿り着けます。とある階段。古くからあると思われる赤レンガと新たに補修したと思われるコンクリート。歴史と新しい時代が垣間見える階段です。赤レンガの隙間から、植物が顔を出している様子は、一味ちがう雰囲気を演出しています。



④長堀通り沿いと練を結ぶ近道階段
長堀通り沿いに一軒ふるい家があります。その家の左側に石で作られたとっても歴史を感じる階段があります。少々急ではありますが、古い感じの手すりが設置されています。御屋敷再生複合ショップ「練」と長堀をつなぐ、秘密の近道。小さな路地を歩いて行くのですが、「あ！こんなところに」と散策の楽しさをアップさせてくれます。